

アート

Botão Exhibition vol.6

「記憶のはがし方プロジェクト（阿部大介／鷹野健）」による展覧会

「みなとのきおく memory of the port town」

Botão Galleryでは7月5日（火）より「みなとのきおく memory of the port town」を開催します。「記憶のはがし方プロジェクト」は、「Studio Project」にて4月から約2ヶ月、このまちで滞在制作を行いました。彼らが滞在中に出会った港まちの様々な“物”や“場所”を、剥がし刷り*という手法を用いて制作・展示します。*剥がし刷りとは、油性インクと木工用ボンドを用いて、物質の表面の凸凹を写し取る方法です。



Studio Project vol.3の様子 / Photo : Masami Fujii

■ 開催概要

会期

2016年7月5日(火)-7月23日(土)
日・月・祝日休み

開館時間

11:00~18:00

会場

Botão Gallery

入場料

無料

企画

渡辺英司 /
Minatomachi Art Table, Nagoya
[MAT, Nagoya]

主催

港まちづくり協議会

※ウインドーギャラリーのため室内への見学希望の際は「Minatomachi POTLUCK BUILDING」にご来館ください。

■ 展覧会の見どころ

港まちのアーカイブを残す

「記憶のはがし方プロジェクト」の作品は、物や場所の持つ変容や痕跡を歴史（きおく）としてはがしとります。現在進めている「み(ん)なとまちをつくるアーカイブプロジェクト」と連動して、「語り」と「物」を媒体に、それぞれの角度から継続して港まちのアーカイブを残していきます。



Photo : Masami Fujii

■ ゲストプロフィール

記憶のはがし方プロジェクト / Peel Off the Memory Project

阿部大介、鷹野 健によるプロジェクト。2014年に発足。主な展覧会に「AOMORI PRINT トリエンナーレ2014 「記憶のはがし方」」（青森市民美術展示館、夜店通り空き店舗、青森、2014年）、「TRANSITIONS International Exhibition of Prints 2015」（China Print Art Museum、中国、2015年）、「ファン・デ・ナゴヤ美術展2016 「日本家」」（名古屋市民ギャラリー矢田、愛知、2016年）など。



《日本家》2016

阿部大介 / Daisuke Abe

1977年京都府生まれ、愛知県在住。既存の物の表面をうつしとった平面作品、立体作品等を制作している。主な展覧会に「Untitled・CBI25T」（AIN SOPH DISPATCH、愛知、2015年）、「現代美術レジデンスプログラム 皮膚感覚 阿部大介展」（美濃加茂市民ミュージアム、岐阜、2015年）などがある。2016年には名古屋市文化振興事業団「芸術創造賞」を受賞。

www.daisukeabe.net



《Untitled》2012

鷹野 健 / Takeshi Takano

1980年神奈川県生まれ、愛知県在住。平面作品制作、ワークショップ、プロジェクトの3つの領域において「版画」を軸にアーティスト活動をおこなっている。主な展覧会に「KCPA International Printmaking Festival 2014-15」（Jincheong Printmaking Museumなど、韓国、2014年）、「Waiting Image - 待機するイメージ」（MUSEE F、東京、2015年）などがある。

www.ttakano.com



《after the fever 2-8》2011

広報用画像の使用について

本プレスリリース内の画像を掲載する場合は、下記へお問い合わせください。
※写真に添付しているキャプション・クレジット等を正確に表記してください。
港まちづくり協議会 広報 | 岡西 okanishi@minnatomachi.jp

【お問い合わせ】

港まちづくり協議会事務局 広報：岡西

〒455-0037 名古屋市港区名港1-19-23

Minatomachi POTLUCK BUILDING

(みなとまちポットラックビル)

TEL | 052-654-8911

Mail | okanishi@minnatomachi.jp

Web | minnatomachi.jp mat-nagoya.jp

